

2023 年度 クリスマス・年末年始募金のお願い

クリスマスが近づき、急に冬になったようなこの頃ですが、皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか。本年もアジアキリスト教教育基金 (ACEF:エイセフ) は、皆様からのご理解とご協力によって、活動を続けることができました。心より感謝申し上げます。

日本とバングラデシュの社会・経済的状況、そして世界の状況が大きく変わる中、ACEF と現地パートナー団体の BDP(Basic Development Partners) は、すべての子どもたちが教育を受けられることを目指して、活動を続けています。現在は全国 6 地区にある 42 校の BDP 小学校で 3,500 名余りの子どもたちが勉強をしており、3 つの職業訓練校からは、150 名余りの若者が 4 つのコースを修了して、社会に羽ばたいて行きました。また、子どもたちが望まない中途退学や進学を諦めざるを得ない状況をなくしていくために、家計の安定・向上を目指したマイクロファイナンス事業では、現在 110 グループ 1,800 名以上の母親 (女性の保護者) たちが活動を続けています。

現地では、厳しい状況の中で子どもたち、その家族、そしてコミュニティが、BDP スタッフとともに日々奮闘しているところです。急速な経済成長を遂げているバングラデシュは、3 年後の 2026 年には後発開発途上国を卒業すると言われていますが、都市部スラムやアクセスが不便な農村部では、この大きな変化に取り残される人々がいます。バングラデシュでは、今年約 10% のインフレを記録し、賃金が上がらない貧困層を中心に苦しい生活が続いています。また世界状況のあおりを受け、日本でも生活費の高騰しているのは、皆様ご承知の通りです。このような状況の中、ACEF では会員の減少と寄付金額の減少が続き、これに伴い、BDP への送金を中断せざるを得ない事態になっています。

一人の生徒が BDP 小学校に 5 年間通うためには約 37,000 円、また BDP 小学校の先生の給与として一人年間約 90,000 円が必要です (2023 年 11 月時点で、生徒数 3,546 名、教員数 154 名)。いつもお願いばかりで恐縮ですが、子どもたちが明日も変わらず、より良い教育を継続して受けられるように、ACEF 理事をはじめ、事務局スタッフがボランティアの皆さんと一丸となって日々活動をしております。重ねて皆様からのご支援をお願い申し上げます。

※すでにクリスマスのご寄付をくださった皆様、今年もご支援をいただき、誠にありがとうございました。事務作業の都合上、本状をお送りいたしますが何卒ご容赦ください

2023 年 11 月

特定非営利活動法人 アジアキリスト教教育基金

理事長	荒谷 出	顧問	田坂 興亜		
副理事長	野村 正宣	評議員	安部 由紀子	高崎 和子	
	天野 海走		上野 峻一	高橋 満	
	井上 儀子		江間 紗綾香	塚本 潤一	
	大野 由里子		大木 正人	都築 昌子	
	小野 道子		大坪 千鶴	徳田 有希子	
	佐野 正子		小田 哲郎	堀口 聖子	
	ジェフリー・メカデーク		小田 理一郎	松本 周	
	西村 幹子		木越 憲輝	皆川 宜之	
	野田 沢		岸 ひかり	森田 智子	
	森 和博		古賀 博	山内 章子	
事務局長	柳原 さつき		佐藤 飛文	山口 旬	
監事	桃井 明男		関口 弘美	湯本 浩之	
	大江 浩		高石 孝子		



2023 年度スタディツアー: 折り紙で交流
(プーパイル地区)

【ヘモント・コラヤ BDP 新事務局長より、メッセージが届いています】



クリスマスメッセージとアピール

ACEF 理事、ACEF スタッフ、学生の皆さん、日本の友人、親愛なる皆様、BDP よりクリスマスのご挨拶を申し上げます。2023 年 10 月 1 日より、私は事務局長として新たな責任を担うことになりました。ACEF と BDP の 30 年以上続く友好関係の中で、ACEF と BDP の絆を深めるために私は何度も日本を訪れ、多くの日本の幼稚園、小学校、高校、大学、教会を訪問し、とても幸せな経験をしてきました。

BDP は子どもに焦点をあてた全国的な NGO で、特に貧しい子どもたちや障がいのある子どもたちのために、子どもの健やかな発達のために活動しています。初等教育はすべての子どもの基本的権利であり、憲法で保障されています。現在、BDP は特に財政的な課題に直面していますが、BDP を支援してくれる多くの友人や支援者のお力添えにより、この状況は克服できるものと信じています。日本の友人たちのご支援をいただきながら、これからも良い小学校運営をしていきたいと考えています。

私たちは今年もまた、共に一年を終えることができましたが、私たち全員にとって今年は困難な年であったことは否認しません。しかし、私たちは ACEF ファミリーの揺るぎないメンバーであり、友人であり、同志であり続けることをとても嬉しく思っています。クリスマス・シーズンが近づくにつれて、多くの試練や苦難の中にあっても、私たちが今年経験した恩恵を思い起こす良い機会だと感じています。ACEF を通じて BDP に寄付をするということは、皆さんが、教育の光を見る機会に恵まれない苦境にあるバングラデシュの子どもたちのことを覚えてくださっていることを表す素晴らしい方法ではないかと思っています。この季節にクリスマスプレゼントを買うときは、ぜひ BDP の子どもたちのことをお心に留めてください。

皆様からのご寄付は、直接 BDP の初等教育事業など、子どもたちへの教育支援を主な目的に使われます。どうか私たちをご支援ください。

メリークリスマス、あなたとあなたの愛する人たちに祝福がありますように。

バングラデシュの子どもたちと女性たちの発展のために、私たちが活動を続けることができますように。

とても とても ありがとうございます。またあいましょう。

BDP 事務局長

イグナチオ・ヘモント・コラヤ

ワンコインのご支援ももちろん大歓迎です。お気持ちに感謝いたします。

2023 年度スタディツアー：見慣れない日本人に興味津々の子どもたち(ジャマルプール地区)

